



「福岡検定」でおもてなしマイスターに!

「福岡検定」は、福岡市の歴史・文化や伝統芸能など、観光に関連する幅広い知識の習得を通じて郷土愛を醸成し、“福岡通”になっていただくためのご当地検定です。市民の日常生活をより魅力的なものにするだけでなく、市民一人ひとりが福岡を訪れる方々に“おもてなしの心”で接し、福岡市の魅力を発信することを目的としています。

今回は、令和5年度で11回目を迎える「福岡検定」についてご紹介します。

※この誌面は、福岡市経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課提供の資料をもとに当所で作成しています。

「福岡検定」誕生の背景



福岡市は、玄界灘を通じた大陸との対外交流によって、古くから多様な歴史・文化が形成され、市内には2000年を超える歴史的・文化的資源があります。さらに、福岡市は豊かな自然や穏やかな風土が都市機能と上手く調和し、多様性のあるコンパクトシティとして成長してきました。

その一方で、福岡市は一般的に都会的なイメージが定着し、価値のある歴史・文化の魅力は市民や観光客へ十分に伝わっていないことも現状でした。

そこで、2013年度(平成25年度)、当所・福岡市・福岡観光コンベンションビューローなどの関係団体は、歴史・文化を活かした観光都市福岡の実現に向けて、「福岡検定」を創設しました。「福岡検定」を通じて地域の歴史・文化を知ってもらうことは、市民の郷土愛醸成やインバウンド需要を持続的に取り込むカギとなりえます。

「福岡検定」は、これまでに延べ*8,498人が受験し、*4,427人が合格して「福岡おもてなしマイスター」となっています。さらに、コロナ禍での社会情勢を受けて、2020年度(令和2年度)からはWEBで気軽に受験できるようになりました。

※個人の区別をしていないため、級を跨いだ合格者数の重複があります。

これまでの総受験者数と総合格者数の一覧			
実施回(年度)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第1回(H25)	2,142	835	39.0
第2回(H26)	1,025	643	32.7
第3回(H27)	901	330	36.6
第4回(H28)	683	447	65.4
第5回(H29)	686	368	53.6
第6回(H30)	613	218	35.6
第7回(R1)	614	396	64.5
第8回(R2)	811	552	68.1
第9回(R3)	626	414	66.1
第10回(R4)	397	224	56.4
合計	8,498	4,427	52.1

令和5年度のテーマは「福岡市の魅力的な観光資源」

「福岡検定」では、2015年(平成27年)から通常問題に加えて毎年異なるテーマ問題が出題されています。今年のテーマは、「福岡市の魅力的な観光資源」です。福岡市の観光スポットや歴史・文化などの観光資源について楽しく学び、福岡市の魅力を再発見することを目的に設定されました。

「福岡検定」には、福岡市博物館の監修のもと制作された公式ガイドブック「福岡博覧」があります。福岡市の歴史・文化から自然環境等に至るまで、余すことなく福岡市の魅力が紹介されており、基本的な知識や豆知識をこの一冊で学ぶことができます。ぜひ、ご活用ください。



▶「福岡博覧」(海鳥社出版)
1,980円(税込)

実施回(年度)	過去のテーマ
第1回(H25)	—
第2回(H26)	—
第3回(H27)	新・奴国展
第4回(H28)	福岡城・鴻臚館の歴史と今
第5回(H29)	貿易都市・博多-チャイナタウン出現から太閤町割まで-
第6回(H30)	博多旧市街
第7回(R1)	福岡と食
第8回(R2)	祭り
第9回(R3)	福岡市とまちづくり
第10回(R4)	海に開かれたまち福岡
第11回(R5)	福岡市の魅力的な観光資源

マメ知識

「福岡検定」公式キャラクターの紹介!



オッペケケン

「オッペケペー節」で一世を風靡した筑前黒田藩(福岡藩)出身の川上音二郎の愛犬の末裔といわれているワンコ。夢は福岡検定で世界を席卷すること。

めざせ満点 過去問に挑戦!



問1

博多に初夏の訪れを告げる「あぶつても」。その魚は何か。(第8回初級)

- ① スズメダイ ② アマダイ
③ クロダイ ④ イシダイ

問2

博多には中世の町衆の名が刻まれた碑が残るが、次のうち「濡衣塚」と呼ばれるものはどれか。(第10回中級)

- ① 康永三年銘梵字板碑 ② 永和三年銘梵字板碑
③ 地藏菩薩像板碑 ④ 嘉暦三年銘自然石梵字板碑

問3

昭和56年(1981年)、福岡市営地下鉄開業時の駅数はいくつか。(第10回上級)

- ① 5駅 ② 6駅
③ 7駅 ④ 8駅

問1の答え

1 スズメダイ

「あぶつても」は、主に福岡市沿岸地域で食べられているスズメダイの塩焼きのことです。スズメダイは、体長10cm程の魚で日本海に広く生息していますが、旬の時期には大量発生して船の舵の妨げになったり、食べるときに小骨が多かったりすることから、他地域ではあまり好まれていませんでした。



▲あぶつても (提供: 福岡市)

明治末期、博多湾が面する玄界灘にスズメダイが大量に流れ込みました。航路確保のために捕られましたが、脂がのって美味しかったことから、食べられるようになりました。名前の由来は、「炙ってすぐ食べると鴨の味がする」や「炙ってすぐ噛む」という言葉がなまったなど諸説あります。博多名物となったのは、昭和期に料亭などで提供されたことが始まりといわれています。

問2の答え

1 康永三年銘梵字板碑

「康永三年銘梵字板碑(濡衣塚)」は、博多区千代の石堂橋そばにある県指定有形文化財です。

8世紀前半、筑前国司・佐野近世の後妻は、前妻の娘に嫌がらせをするために漁師へ賄賂を渡し、「釣り衣を盗まれた」と告発させます。娘が濡れた釣り衣を羽織って寝ている姿を見た近世は、逆上して娘を自らの手で斬ってしまったのです。のちに、近世の夢に娘が亡霊となって無実を訴え、康永3年(1344年)に供養のために塚が建てられたといわれています。



▲康永三年銘梵字板碑(濡衣塚) (当所撮影)

無実の罪を負わされるという意味の「濡れ衣」という言葉は、この逸話が語源とされています。

問3の答え

3 7駅

昭和36年(1961年)、福岡市総合計画で「市内高速循環鉄道」について初めて言及されました。昭和47年(1973年)には、福岡市議会で「福岡市が高速鉄道を建設し、経営する」ことが決議され、建設区間は、1号線: 姪浜~博多9.8km、2号線: 中洲川端~貝塚4.7kmとなります。その翌年、運輸大臣から地方鉄道事業免許を受け、開業に向けた準備が始まりました。

そして、昭和56年(1981年)、ついに室見~天神の7駅で1号線が開業。翌年には、1号線(天神~中洲川端)と2号線(中洲川端~貝塚)の運行が開始し、その後、次々と延伸していきました。3号線となる七隈線は、平成17年(2005年)に橋本~天神南間で開業となりました。

合格して“おもてなしマイスター”になろう!

合格者には、「福岡おもてなしマイスターバッジ」や「福岡おもてなし団体の認定証(団体受験のみ)」が贈呈されます。その他にも、合格者認定証を見せると、福岡市内の観光施設等での優待やノベルティ進呈、飲食店でのサービスなど、福岡を楽しむおでかけに活用できる特典が受けられます。(特典は合格級によって異なります)



▲福岡おもてなしマイスターバッジ (左から上級・中級・初級)

▶「福岡おもてなし団体」認定証の盾



合格者特典一覧 (令和4年度版) はこちら



福岡検定

今年度の試験は、**令和6年1月28日(日)**です。受験要項や申込に関する詳細は、本号 p20 でご紹介しています!



今回は、福岡検定の設立背景をはじめ、過去問の解説を通して福岡の歴史・文化をご紹介します。公式ブックの「福岡博覧」には、思わず周りに自慢したくなるような福岡の歴史・文化に関する豆知識を学ぶことができます!福岡検定の受験目的以外でも、福岡市の魅力をたっぷり知ることができる一冊です!読書の秋のお供に、ぜひ活用ください。

記事に関するお問い合わせ / 企画広報グループ TEL: 092-441-1112
福岡検定に関するお問い合わせ / 福岡市経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課 TEL: 092-711-4353